

## 令和3年度地域部活動推進事業における成果報告書

### 【合同部活動】

#### 1 どうしたら関係団体と円滑に地域移行を推進できる体制を構築できるか

- 関係団体の担当課との市庁内での連携が必要になってくる。
- 関係団体に地域部活動の意義を周知する必要がある。
- どのような体制を構築するか模索しているところである。

#### 2 どのような支援が拠点校の取組や関係団体の協働を効果的に促進することができるか

- 現在は、関係団体と関係校との調整等を市教委で行っている。
- 行政が関係団体と各校の間に入ることなく、連絡調整できるシステム作りが必要である。
- 吉備国際大学の協力で活動できている。

#### 3 どのようにして、それぞれの課題を克服していくのか

- 本年度はコロナ感染対策の影響で活動が十分にできておらず、課題の洗い出しの段階である。
- 吉備国際大学の他の競技で同じような関わりができれば、かなりの課題が克服できるのではないか。

#### 4 どうすれば改革の取組を円滑に他地域に普及していけるのか

- まさにこの点が大きな課題であると考える。
- 現在取り組んでいる野球部をモデルとして、課題等をさらに洗い出し、研究を続けていく必要がある。
- 練習場所への移動手段や練習会場確保、活動のための用具など課題は山積している。

#### 5 実践研究における活動実績や得られたデータ

- コロナや合同チームの構成状況等で、「合同部活動」としての活動が思うように実施できなかった。
- 月1回ペースで、集合しての活動を行った。
- 練習会場までの移動に吉備国際大学の協力でバスを使用することができたが、他の地域や他の部に広げていけるかどうかは不明である。